

会員報告

学生ボランティアと沖縄へ

山本 智章

去る11月13日(金)～15日(日)に第30回リハ工学カンファレンスが沖縄県総合福祉センターにて開催されました。今年の宿泊は東京、しあわせの村、神奈川、そして沖縄と全てが学生ボランティアと参加することになりました。2015年最後の宿泊です。今回も兵庫頸損連の島本さんと学生さん3人と私の5人での旅行になりました。沖縄に行くことが決まり、沢山のことが初めての体験です。初めて行く沖縄。初めて乗る飛行機。初めての2泊3日。この中で一番知りたかったことが、どのように飛行機に乗るかでした。またチケットの予約です。まず航空会社に電話で伊丹から那覇までの往復のチケットを予約します。次に電動車椅子の重量やバッテリーの種類を伝えました。チケットの引換券には期限があり電話予約が終わってから2～3日以内にコンビニで支払うということでした。とても短い期間で焦りました。もう少し長い期間にしてもらえたらなと思いました。あと、電話予約で当日に移乗のお手伝いが必要だと伝えている方が良いと思います。CAさんや男性の方2～3人でお手伝いをして頂けます。

当日、私の家に学生さんに来てもらい両親に伊丹空港まで車で送ってもらいました。受付でチケットの手続きを済ませると航空会社の車椅子に移乗します。私の体が大きいせいか、車椅子が小さく感じました。またタイヤが小さく乗り心地はあまり良いものではありませんでした。



航空会社の車椅子

電動車椅子はというと係りの方がバッテリー等を目視で確認して飛行機で那覇に送ってくれます。出発まで時間があったので昼食を空港のコンビニで買いお喋りをしていました。



リクライニング式車椅子に乗る島本さんと私

ようやく時間となり検査室で荷物の確認やボディチェックをされてから機内に向かいます。機内の通路は車椅子がギリギリ通れるくらいの幅で非常に狭く感じました。この狭いスペースで座席への移乗をします。介助者は車椅子の後ろと前に1名ずつ、車椅子のクッションを座席に移動させる人が1名の合計3名です。後ろの人は脇の下から手を入れて胸の前で固定して上半身を。前の人は膝の後ろに手を入れ両膝を抱え込むようにして下半身を。少し分かり辛いかと思いますが、しっかりと介助者に体を持ってもらい抱えて移乗してもらいました。飛行機に乗るだけで2回も移乗します。那覇に着いても座席から車椅子へ、車椅子から電動車椅子へと片道だけで4回も移乗することが分かりました。正直、飛行機に乗るのも人手がないと大変だなと思いました。

もうすぐ那覇に着くとアナウンスがあり、窓から外を見ると下に雲が見えていて高度が下がるにつれ海が見えて普段は見ることのない景色に思わず記念に写真を撮りました。今度いつ見られるか分からないですから。もちろんCAさんの許可をもらいました。

那覇空港に着いて一言目が「暑い！」でした。11月半ばだというのに那覇の気温は27℃前後で兵庫と比べて約10℃の気温差がありました。私は寒がりです。厚着をしていたから余計に暑く感じたと思います。しかし、それにしても暑い。電動車椅子に移乗してすぐに上着を2枚脱いで、水分補給をして体温調節を行いました。

ホテルまでは那覇空港駅から“ゆいレール”に乗り牧志駅で降ります。駅からは徒歩約10分です。この“ゆいレール”の乗り方に驚きました。ホームで電車を待っていると駅員さんが来てくれたのですが、手にスロープを持っていません。スロープなしで電車に乗れるのだろうか。不安になってきました。電車がホームに着くと駅員さんのリモコン操作でホームの床が上がり、床がスロープになるということでした。



ホームの床が上がる前



ホームの床が上がりスロープに

駅前は国際通りがあり観光客で賑わっていました。13日は夕方ホテルにチェックインして夕食

まで時間があつたので国際通りでお土産を買う場所を散策しました。夕食は兵庫頸損連メンバーで首里天楼（すいてんろう）というお店で琉球料理を頂きました。そこで人生初の海ぶどうを食べププチした触感でとても美味しかったです。

2日目、朝6時起きのはずが7時に起床。1時間、寝過ぎてしまいバタバタと準備。遅刻ではあるけれど、島本さんの講演に間に合い一安心。

お昼は会場で予約していた、お弁当を私だけが食べて他の3人は会場近辺にある“ソーキそば”を食べに行きました。寂しいので私も行きました。

明日の朝食を買いにコンビニへ行くと元プロ野球楽天の斎藤隆選手とバッタリ遭遇。写真をお願いすると快く撮ってくれました。まさか、沖縄のコンビニで有名人と会えるなんて思いもしない出来事でした。嬉しくて明日もきっと良い日になるなんて思っていました。

3日目は自由行動と決めていたので朝はゆっくりと寝て国際通りにあるお土産を買いに行きました。私と学生さんは琉球ガラスのコップを、食べ物に“ちんすこう”のチョコ味を買いました。お昼は兵庫頸損連メンバーでステーキハウスの“ビックハート”で食べました。私はサイコロステーキを注文しました。最終日、疲れた体に栄養たっぷりのお肉を食べて至福のひとつきを満喫しました。「よし、あとは那覇空港へ行って兵庫に帰るぞ」と気合いが入りました。空港での手続きや移乗などスムーズに行うことができ無事に伊丹空港に帰ってきました。最後に、2015年は学生さんとの宿泊を通して“初めての介助者”に伝えることの大切さを経験できたと思います。



最後に伊丹空港で記念撮影